

大医薬大 1013 号  
2026 年 6 月 10 日

各関係機関の長 殿

大阪医科薬科大学  
学長 佐野 浩一  
(公印省略)

## 大阪医科薬科大学薬学部教員（有機薬化学研究室担当教授）の公募について（ご依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
このたび本学では、有機薬化学研究室担当教授を公募することとなりました。  
つきましてはご多忙中誠に恐縮に存じますが、関係者各位にお知らせいただきたく、よろしく  
お願い申し上げます。

謹白

### 1. 募集内容

有機薬化学研究室担当 教授 1名  
着任時期 2027 年 4 月 1 日（予定）

### 2. 応募資格

有機化学、創薬化学関連分野の教育に強い意欲を有し、教授としての優れた見識を有する者  
で、薬学部及び大学院薬学研究科における教育・研究に関して明確な理念と指導能力を有す  
る者。また、有機化学分野（革新的創薬基盤研究、有機化学反応開発など）において、これま  
でに独創的な研究を行い、顕著な業績（特許を含む）をあげており、今後もこれらの分野の  
発展に寄与できる者。さらに、本学の教育研究組織の運営において、指導的な役割を果たす  
ことができる者で、次の各号のいずれかに該当する者。ただし、いずれの号においても薬剤  
師免許を有することが望ましい。

- (1) 博士の学位を有し、大学卒業後 15 年以上を経、優れた研究業績を有する者。
- (2) 博士の学位を有し、かつ前号に準じる学識、経歴があると認められる者。

### 3. 教育内容

- (1) 学部教育：令和 4 年度改訂薬学教育モデル・コア・カリキュラムの C-3 領域（薬学の中  
の有機化学）および C-4 領域（薬学の中の医薬品化学）をカバーする科目および特別演習・  
実習（卒業研究）を担当する。他に、有機化学実習、基礎薬学導入学習、早期・中期体験学  
習、統合薬学演習、薬学総合演習などを担当または分担することがある。
- (2) 大学院教育：大学院薬学研究科薬学専攻博士課程並びに大学院薬学研究科薬科学専攻博士  
前期課程及び後期課程における教育・研究指導を担当する。

### 4. 研究室と教員構成

現在の研究室は、教授 1 名（2027 年 3 月末退任予定）、講師 1 名が在籍している。主と  
して、以下の研究を行っている。

- (1) 抗腫瘍性海洋天然物及びその類縁体の合成と生理活性に関する研究
- (2) ドラッグデザインに基づく機能性有機化合物の合成研究
- (3) 非天然型アミノ酸合成のための新規キラル触媒の開発

### 5. 提出書類（各 1 部、A4 版）

- (1) 履歴書（写真貼付、様式 1-1）
- (2) 研究業績一覧表（様式 3）、研究業績集計表（様式 3-1）

- (3) 主要論文（研究業績一覧表に記載した原著、総説、著書のうち主なもの10編以内）の目録・要旨（様式4）と別刷
- (4) 科学研究費等獲得実績（様式5）
- (5) 研究業績の概要と今後の研究に対する抱負（主要論文の位置付け、成果の評価、具体的な研究計画と期待される成果などを含む、2000字程度、様式6-1）
- (6) 教育経験の概要と薬学教育に対する抱負（薬剤師養成教育に関する考えを含む、2000字程度、様式6-2）
- (7) 大学運営への参加実績と今後の大学運営に対する抱負（大学運営における役員・委員歴（入試出題委員を含む）、大学運営に関しての将来像に対する抱負など。大学運営における委員歴等がない場合は抱負のみで可）（様式任意）
- (8) 社会貢献活動実績（各種法人、協会及び学会・研究会などの団体の役員・委員歴、行政機関における審議会・懇談会などの委員歴、法人・協会や行政機関などにおける一般的講演（教育研修、市民講座など）歴、国際交流（外国人研究生受け入れなど）など。特筆すべき社会貢献活動がない場合は不要）（様式任意）
- (9) 教育・研究内容等に関し照会可能な者2名の氏名、連絡先及び本人との関係（様式7）
- (10) 推薦書（様式任意）
- (11) 候補者データ（様式8）
- (12) 教育業績一覧（様式9）

提出書類は、必ず本学指定の様式をご使用ください。提出にあたっては、提出書類作成時の注意事項をご確認のうえ、郵送による紙媒体1部（片面印刷）に加え、電子媒体（USB等）に保存したデータも併せてご提出ください。なお、別刷（両面印刷）についても、電子データでのご提出をお願いいたします。

なお、各様式は大阪医科薬科大学ホームページの採用情報よりダウンロードいただけます。

URL:<https://www.omp.ac.jp/about/recruit/index.html>

## 6. 応募期限

2026年7月31日（金）12：00必着

## 7. 書類提出（郵送）先及び問い合わせ先

〒569-1094 大阪府高槻市奈佐原4-20-1

大阪医科薬科大学

有機薬化学研究室教授人事選考委員会

委員長 平野 智也

Tel:072-690-1084 E-mail: tomoya.hirano (at) ompu.ac.jp

※ (at) を@に置き換えてご利用ください。

\* 提出書類は原則として郵送（簡易書留）とし、封筒の表に「有機薬化学研究室担当教授応募書類在中」と朱書してください。（ご提出いただいた書類は返却いたしません。）

\* 事務的な内容についての問い合わせは、下記までご連絡をお願いします。

総務課長 三上 将彦

Tel:072-690-1010 E-mail: p-somu (at) ompu.ac.jp

※ (at) を@に置き換えてご利用ください。

## 8. 付 記

- \*書類選考の上、研究および教育に対する抱負に関するプレゼンテーション（9月下旬予定）、有機化学、創薬化学関連科目の模擬講義、質疑応答を行っていただきます（各20分、合計60分以内）。詳細は、後日電子メールにより通知します。
- \*本学では、教授のテニユア制度（テニユアトラック期間5年）を導入しており、必要な審査を受けて任期のない教員（定年制度を適用）となることができます。
- \*セクシャルハラスメントを含む性暴力等を原因とする懲戒処分歴等を確認します。
- \*男女共同参画社会基本法を遵守し、教員の選考を行います。

以 上

---

### 【大阪医科薬科大学 求める教員像】

- 1.優れた人格と豊かな人間性を備え、人類共通の課題である健康の維持増進並びに疾病の予防と克服及び苦痛の軽減に努める者
- 2.専攻分野について、優れた教育研究指導上の能力と実績及び経験を有し、教育及び研究に対して明確な抱負を持つ者
- 3.各学部及び各研究科の「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」の重要性を理解し、教育研究活動を推進できる者
- 4.高い倫理観・道徳観に基づき、公正・公平な教育研究活動と真摯な学生支援が行える者
- 5.地域医療から世界に通じる研究開発にわたる領域で探究心と熱意を持って活躍し、新たな研究分野の開拓に取り組める者
- 6.社会貢献の意識が高く、教育研究成果を社会に積極的に還元できる者
- 7.自己の資質向上を目的に、変化する社会に対応し最新の知識と最良の技術を生涯学び続け、また、他者と円滑に協働できる者
- 8.大学をめぐる社会的動向への関心を有し、大学の発展のために協調性をもって自律的、主体的に大学運営に参画できる者

